

業務対象区域周辺の観光コンテンツ等について

1. 主な観光コンテンツについて

1-1. 主な施設の位置

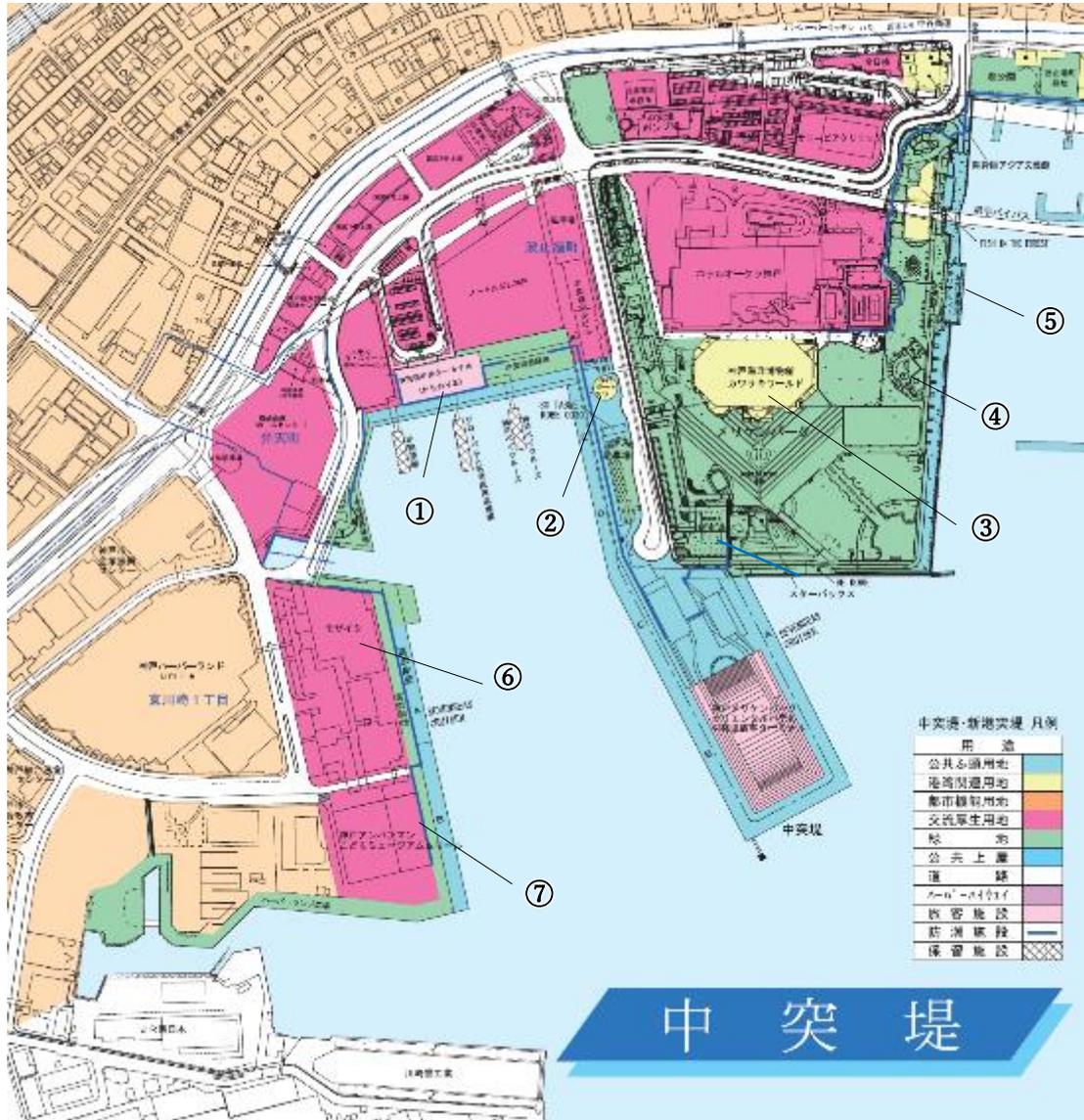


図1 メリケンパーク及びその周辺の主な施設

1-2. 主な施設の概要

表1 主な施設一覧

| 地区 | 番号 | 施設名称 |
|--------------------------|----|-----------------------------|
| (1) メリケンパーク 及びその近傍 | ① | 中突堤中央ターミナル「かもめりあ」 |
| | ② | 神戸ポートタワー |
| | ③ | 神戸海洋博物館 |
| | ④ | 噴水広場 |
| | ⑤ | 神戸港震災メモリアルパーク |
| (2) ハーバーランド | ⑥ | 神戸ハーバーランド一帯（モザイク、Umie 等を含む） |
| | ⑦ | モザイク大観覧車 |



図2 主要な施設の様子

1-3. 主な施設の紹介

(1) メリケンパーク及びその近傍

①中突堤中央ターミナル「かもめりあ」

中突堤中央ターミナルは、ポートタワーのある中突堤とハーバーランドの間に位置する中突堤西地区に1998年3月にオープンしました。神戸港めぐりの遊覧船が就航しています。同ターミナルは、すべての人に優しいアメニティターミナルを目指しており、バリアフリーの構造になっています。また、点字表示案内板、音声誘導システムなども設置されており、高齢者・障害者の皆さんにも利用しやすいターミナルとなっています。

②神戸ポートタワー

神戸のランドマーク神戸ポートタワーは、鼓型の美しい外観は世界最初の独特のパイプ構造となっており、最上階の展望室からは神戸港と市街地、六甲山系の大パノラマが望めます。展望5階の天井には光ファイバーによる四季の星座も楽しめます。

③神戸海洋博物館

大海原を駆ける帆船の帆と波をイメージした白いスペースフレームの大屋根が特徴的な「神戸海洋博物館」は「海から港から神戸が始まり、未来に船出する。」をコンセプトに「神戸開港120年記念事業」として1987年にオープンしました。2006年には神戸港の開港以来、その歴史とともに歩んできた川崎重工業が企業博物館「カワサキワールド」を隣接展開しています。また、2020年2月には「神戸とみなとのあゆみ」をテーマに港の発展と神戸港の関わりを伝え、未来の海事人材の育成に寄与する施設に磨きをかけ、世界へと広がる国際貿易港とその広がりやスケールを感じ、海・船・港へのあこがれに包まれるような、ダイナミックな臨場感あふれるライブ空間をとしてリニューアルしました。

④噴水広場

神戸開港150年を機にリニューアルしたメリケンパーク内にある噴水広場は、憩いの場所として、眺めて楽しい、水に触れて楽しめる水景施設となっています。夜間には、音楽とLED照明による噴水演出を行っています。

⑤神戸港震災メモリアルパーク

阪神淡路大震災によって被災したメリケン波止場の一部（岸壁60m）をそのままの状態に保存し、見学できるように整備した公園です。また、神戸港の被災の状況、復旧の過程などを記録した模型や映像、写真パネルなども展示。震災のすさまじさを間近に見て、肌で感じることができます。

(2) ハーバーランド

⑥神戸ハーバーランドー帯（モザイク、Umie等を含む）

ハーバーランドは神戸の中心市街地のやや西側にあり、ショッピングやグルメ、映画館、アミューズメントスペースなどの大型複合施設が充実している神戸有数のショッピング・観光エリアです。クルーズ船コンチェルトなどが接岸する高浜岸壁などは潮風に吹かれながら散策する絶好のポイントです。

⑦モザイク大観覧車

神戸の景色を 360 度楽しめるモザイク観覧車です。夏も快適な冷房付きゴンドラに、大人気のアンパンマンのキャラクター、ドキンちゃんのイラストがかわいい「ドキンズハートカフェゴンドラ」も登場しました。また夜は、神戸の夜景が楽しめるのも魅力であり、大人も子供も楽しめます。

1-4. 主なモニュメントの位置

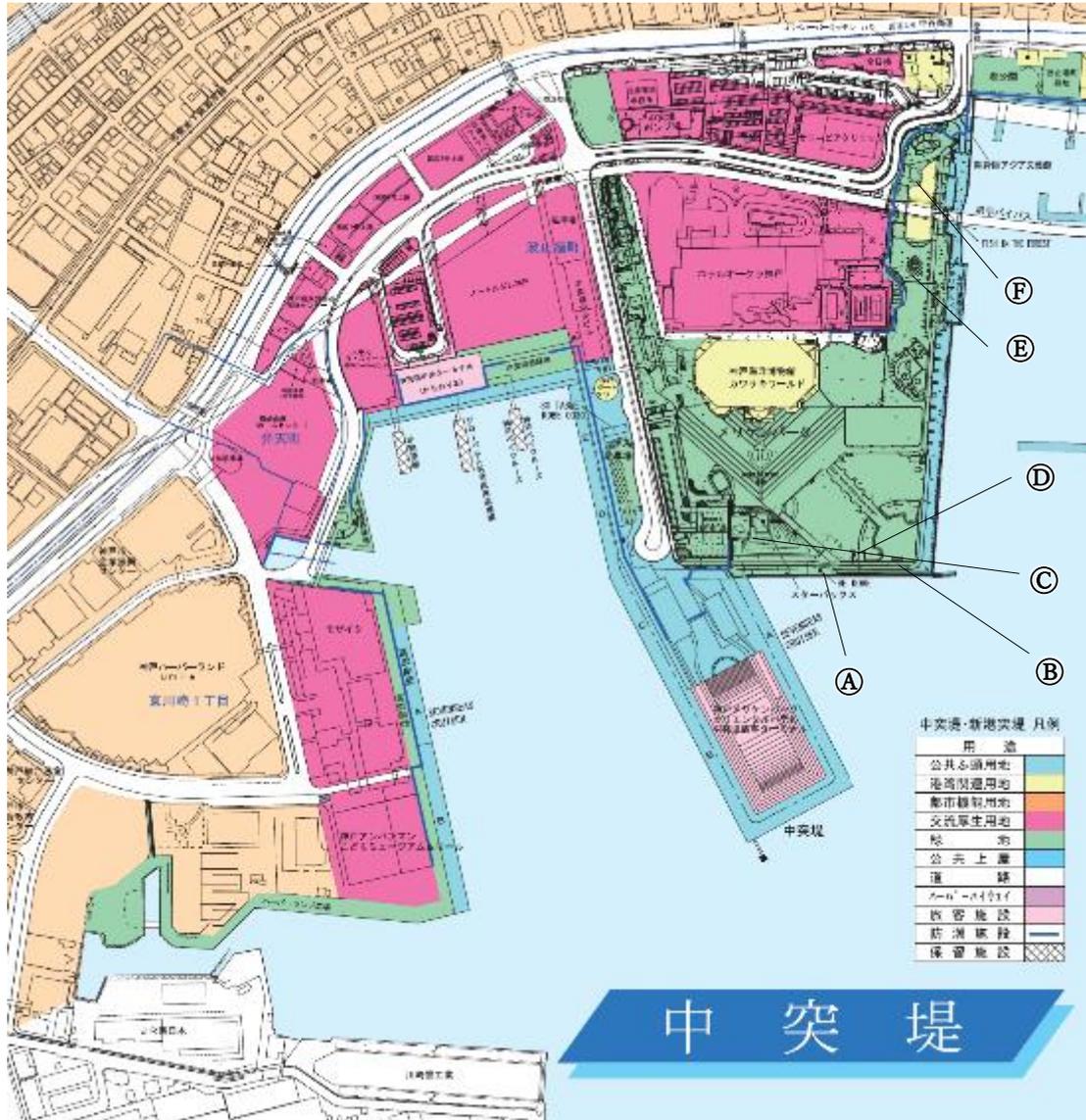


図3 メリケンパーク内の主なモニュメント

1-5. 主なモニュメントの概要

表2 主なモニュメント一覧

| 地区 | 番号 | 施設名称 |
|----------------|----|------------------------------|
| (1) メリケンパーク | Ⓐ | BE KOBE |
| | Ⓑ | 神戸海援隊の碑 |
| | Ⓒ | オルタンシアの鐘 |
| | Ⓓ | 神戸港移民船乗船記念碑「希望の船出」 |
| | Ⓔ | サンタマリア号跡 |
| | Ⓕ | フィッシュダンス |
| (2) その他 | - | ポーアイしおさい公園 (BE KOBE モニュメント有) |
| | - | 錨山 |



図4 主なモニュメント

1-6. 主なモニュメントの紹介

(1) メリケンパーク

ⒶBE KOBE

「BE KOBE モニュメント」は、2017年に神戸開港150年を記念してメリケンパークに新たに設置されました。いつもたくさんの人たちで賑わうメリケンパークの中でも、とりわけ人気の高い写真撮影スポットです。「BE KOBE」という言葉は、阪神・淡路大震災から20年をきっかけに生まれた「神戸の魅力は人である」という思いを集約したシビックプライド・メッセージです。「BE KOBE」には、新しいことに挑もうとする人や気持ちを愛する、そんな神戸を誇りに思う気持ちが込められています。

⑥神戸海援隊の碑

神戸海援隊の彫刻は竹中工務店が神戸で創業以来、1990年に90周年を迎えたことから記念事業の一つとして、1991年に世界的な彫刻家である流政之氏から神戸市に寄贈されました。この彫刻名は、幕末、神戸の浜で勝海舟を塾長とする海軍操練所から巣立った坂本龍馬をはじめ、海のロマンに生きた青年たちに思いをはせて「神戸海援隊」と流氏が命名しました。

作品は、青年を表す4体の像と、青年たちを励まし、ともに戦った女性たちの象徴である一体の像が抽象的に表現されています。材質は白御影石を使い、高さは約4メートルを誇ります。

⑦オルタンシアの鐘

このモニュメントは、「ワールド・ファッション・フェスティバル'89」の一環として、メリケンパークを舞台に1989年11月に実施された「第1回神戸ファッションフェスティバル」の開催を記念して、日本宝くじ協会の協力を得て「ファッション都市神戸」のシンボルモニュメント「オルタンシアの鐘」を設置することとなり、1990年6月19日に完成しました。

⑧神戸港移民船乗船記念碑「希望の船出」

この記念碑は、今まさに希望に燃え、世界に旅立とうとする海外移住者の家族像です。子供が指さす彼方は移住する国です。移住者は大きな夢を抱き、一抹の不安も感じながら、「青い鳥」を追って未だ見ぬ大地を目指し、移民船で勇躍に出発しました。移住者は、多大の苦難を乗り越え、移住した国に根を下ろし、日本の国際化の先陣として日本との架け橋となり、移住先の国と日本のために大きく貢献しました。これら先人は、今日の世界中で活躍する250万人日系人の基礎を築きました。

⑨「サンタ・マリア」建造と航海の記録

コロンブスが新大陸へ到達してから500年目に1992年に、スペイン政府はこれを記念して「コロンブス500年記念委員会」を設置して多くの文化事業を企画し、世界に向けて参加を呼びかけました。その中で、コロンブスが夢に描いていた「黄金の国ジパング」への到達を実現させるという壮大な航海の企画について日本でも官民を挙げて取り組むことになりました。

スペインでコロンブスの旗艦であった「サンタ・マリア」を復元建造し、日本で公募によって乗組員を募って乗船させ、コロンブスの辿った冒険航海を再現した後、彼が果たせなかった「黄金のジパング」まで到達させる計画が具現化しました。

ここでは、復元帆船「サンタ・マリア」建造と航海の記録について、その偉業を後世に伝えるため、同船の望楼とアンカーを保存しています。

⑩フィッシュダンス

1987年4月、メリケンパークの竣工に合わせ、商業施設「フィッシュダンス」が鯉川の川尻に位置するこの地に建設されました。このモニュメントは鯉をモチーフに、鯉が踊っている姿をいきいきと表現したものになっています。このモニュメントは、アメリカの巨匠フランク・ゲーリー氏がデザインしたもので、安藤忠雄氏監修により制作されました。高さ22m、チェーンリンクメッシュで作られています。建物本

体は、とぐろを巻く蛇をイメージしたもので、メタルパネル被覆と外壁を銅板で覆ったスパイラルタワー構造となっています。

(2) その他

㊦ポアアイしおさい公園 (BE KOBE モニュメント有)

ポアアイしおさい公園は、旧コンテナバースを利用転換し、新たなウォーターフロント空間として 2007 年 4 月に供用を開始しました。さらに、2018 年 7 月には、メリケンパークで好評を博している「BE KOBE」のロゴを取り入れた新たなモニュメントがポアアイしおさい公園内に設置されました。

このモニュメントは、文字部分をくりぬいたデザインとなっており、夜間には文字部分が内側からライトアップされることで、「BE KOBE」の文字が幻想的に表現されています。

㊧錨山

錨山は 1903 年、明治天皇行幸の観艦式を記念し、松を錨の形に植栽したことに始まり、1981 年の神戸ポートアイランド博覧会を記念して錨山の永久電飾を行うとともに、電源として風力発電及び太陽光発電を導入しました。現在では、昼間、発電設備で発生した余剰電力を関西電力に売却し、夜間点灯時には必要な電力が関西電力より供給されるシステムとなっています。

神戸市民の特別な日には錨山の電飾がブルーに変わります。これは 1902 年に神戸市が六甲山で大規模な植林をはじめてから 100 周年になったことを記念して、2003 年に錨山の電飾をブルーに点灯できるように改修したものです。

ブルーは神戸市を象徴する「青い海と緑の山」の「青い海」を表しています。

2. キャラクター等について

本業務の企画立案、設計及び整備にあたって、神戸市若しくは神戸観光局が著作権を有するキャラクターの利用は原則可能ですが、表現方法等によっては利用できない場合がありますので、実施に際しては事前に協議して下さい。なお、これらのキャラクターについては、以下の目的での利用を禁止します。

- ・ 公序良俗に反する目的での利用
- ・ 素材のイメージを損なうような攻撃的・差別的・性的・過激な利用
- ・ 反社会的勢力や違法行為に関わる利用
- ・ 素材自体のコンテンツ・商品としての再配布・販売

(1) 神戸市所有のキャラクター例



中央区イメージキャラクター「かもめん」

◇紹介

「かもめん」は神戸に住んでいる元気な男の子。今までは港に住んでいたけど、山帽子と KOBE シューズをもらって陸にあがってきたんだもめ。

- ・ 誕生日：12月1日

(「葺合区」と「生田区」の合区により「中央区」が誕生した日)

- ・ 好きな食べ物：パン
- ・ 趣味：街歩き、お店めぐり
- ・ 口癖：「〇〇もめ」
- ・ 性格：人がたくさんいるところが大好き。おしゃれをするのも大好き。ちょっぴり寂しがりやなので、見かけたらぜひみんなの方から声をかけてほしいもめ。

(2) 神戸観光局所有のキャラクター例



神戸ポートタワーマスコットキャラクター「キャプテンタワー君」

◇紹介

「キャプテンタワー君」は、神戸港振興協会(現神戸観光局港湾振興部)設立50周年を記念して2008年6月19日に誕生しました。「キャプテンタワー君」の愛称は応募総数611通の一般公募により決定しました。身長2m50cmで特技は敬礼、苦手なことは炎天下の活動とお辞儀です。

3. 神戸市の上位計画等

①神戸 2025 ビジョン（素案）

URL : <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/35913/1soan.pdf>

②「港都 神戸」グランドデザイン

URL : <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/12104/zenpen2.pdf>

③神戸港将来構想

URL : <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/7944/20170710173101-5.pdf>

④神戸市夜間景観形成実施計画（都心・ウォーターフロントエリア）

URL : <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/10779/night-actionplan.pdf>

⑤神戸市文化芸術推進ビジョン（案）

URL : https://www.city.kobe.lg.jp/documents/33591/20205010730_bunkavision.pdf